

市報

やまぐち

2016

7/1

July

No.258

表紙 140年の伝統 阿知須十七夜祭
特集 山口の味力を見つけにおいでまるしえ



ここに来ればとにかく明るくなれる

山口の味力を見つけない おいでまるしえ



本市では、生産者と消費者が直接出会う機会を創ることで、生産者のさらなる意欲向上につなげてもらうと、「食」をテーマにした事業を進めています。

今回の特集は、山口の食の魅力がふんだんに詰まった「おいでマルシェの坂」についてお伝えします。

園農林政策課

☎083-934-2891

お互いの顔が見えるから安心、そして明るい

「あなたの作る野菜を買いたいから、この日を楽しみに待っていたのよ」

「椎茸のかさの裏にチーズをのせてレンジで焼くと美味しいんですよ。ビールのつまみにも合うよ」。毎月第1日曜日、一の坂川沿いの交通交流広場で開かれている「おいでマルシェの坂」の様子です。

マルシェとはフランス語で市場という意味で、生産者が直接持ち込んだ逸品が、緑の芝生の上で、対面販売されています。

生産者は圃場から採れたて直送の「美味しい」食材

や加工品を並べ、消費者は生産者との会話による「生産者だからこそ知っている情報」という付加価値を楽しみながら、お目当ての逸品を買われていきます。

椎茸の調理方法を教えてもらった消費者の方は、「家族から好評で、日常の食卓に、笑顔が広がったの」と喜んでおられました。

一方で、生産者は、消費者から「こういう料理を作りたいから、こんなものはないか」などのニーズに応える生産活動を通じて、更なる「より良い」を皆さんに届けるなど、このマルシェが、笑顔の輪を広げる、そんな場所になっているようです。

「市内の農業を盛り上げ、もっと面白くしていきたい」とそんな風に考えておられる、とにかく明るい農家の皆さんが集まる「おいでマルシェの坂」。一度のぞいてみる価値あります。

番組内インタビューは、山口市特設YouTubeチャンネル「やまぐちね」で見ることができます。



動画のワンシーンから



◀農家の声を取りまとめ、おいでマルシェの坂を市に提案した土井さん。「今後も、消費者の皆様喜んでもらえ、生産者が成長する場を作っていきたい。」と話された。▶生産者の賀屋さんへのインタビューの様子。「高齢者の方から小さいにんじんが欲しいという要望があり、新たな商品価値を見いだせた。」と話された。



800年の歴史ある
徳地和紙を今風に



私が
自印

地域おこし協力隊
船瀬春香さん、千々松友之さん

徳地和紙のブースからはフォトカードを紹介。紙幣などに使われている繊維のきめが細かくて光沢のあるミツマタが使われている。お気に入りの写真をプリントしてお部屋のインテリアにも。



お米がモチモチの
ロールケーキに



私が
自印

名田島農産 松崎博明さん

南部の米所名田島からは、米粉を利用したロールケーキ。米粉の特徴であるモチモチした食感とロールケーキとのコラボレーション。こちらはなんとマルシェだけの限定商品。他にも米粉クッキーなど米粉を使った加工品が並ぶ。



あなたの「おいしい」を発見しよう

おいでマルシェの坂の出店ブースをご紹介します。

南部の可能性を
無限大に引き出す



私が
自印

地域おこし協力隊 西倉慎顕さん

南部ブースには新鮮な野菜の他、西倉さんが提案した加工品も並ぶ。最近では、秋穂のトマトを使用して、秋穂のパン屋さん（ももちゃん）と共同開発したトマトパンが目玉。チーズを載せてオーブンで焼いて食べるなど食べ方は無限大。



先祖代々伝わる
地元密着の味



私が
自印

なかや菓子店 松尾富美子さん

甘い物好きにはこちら。島地の温泉のお土産として生まれた温泉まんじゅう。そして徳地のミルクや卵を使用して作られたプリン。プリンの味は3種類ある。徳地の健康茶カワラケツメイ茶を使用したプリンは香ばしく甘いと評判。



フレッシュな味を
贅沢に詰め込んだ



私が
自印

長州おいしん隊 中浜良太郎さん

県内で活躍する若手農家が出店するブースには、有機にこだわり育てた野菜などが所狭しと並ぶ。お勧めは中浜さんが育てた有機野菜などを詰め込んだ、何から何まで手作りのお弁当。中浜さんや若手農家さんたちとの会話も楽しい。



「新しい」を
マルシェから



私が
自印

ミライエ farm 土井志則さん

土井さんは自らが発掘された「新しい味を提供するお店」をお手伝いしている。9月からは、山口地ビールさんとの共同開発で、自ら育てている自然薯を使ったビールを販売するという。元気が出るビールになりそうだ。



希少な食材を提案
食卓が華やかに



私が
自印

かや農園 賀屋良季さん

こちらは希少な紫アスパラガス。グリーンアスパラガスより甘くて足元まで軟らかいので無駄なくおいしくいただける。ハーブを練り込んだ香りも楽しめるパン作りなど、食べ方も提案する。



会場
一ノ坂川
交通交流広場

博物館
美術館
市役所
東立図書館
八坂神社
西京橋バス停
県道204号
山口駅 ● 山口井筒屋

毎月第一日曜 9時～15時に開催
※西京橋バス停前、青いテントが目印です。車で来られる場合は最寄りの駐車場に停めてお越しください。

山口市本庁舎の整備に関する検討

6月3日、「山口市本庁舎の整備に関する検討委員会」の第3回の会議が開催され、約40人の委員が出席しました。「建替えが妥当である」という、前回会議の結論を踏まえ、新本庁舎の機能、規模、候補地について検討が行われました。

企画経営課

☎083-934-2746

主な検討内容

【役割と機能】

新本庁舎は、市民が利用しやすく、行政サービス機能が充実した、安心・安全な役割等を必要とし、これに付随して、建物のユニバーサルデザイン化や窓口のワンストップ化、防災拠点機能をはじめとする機能を備える案をもとに検討が行われました。

【規模】

規模については、現本庁舎の狭あい化により過去に分庁化した、教育委員会や環境部等の組織を再集約することや、防災拠点の機能強化のため、消防本部を集約することを想定し、延べ床面積を2万〜2万6千㎡として検討が行われました。

【候補地】

新本庁舎の候補地については、山口都市核、小郡都市核を中心に公有

地を基本として、①現本庁舎付近（亀山町）、②亀山公園付近（中河原）、③小郡総合支所付近（小郡下郷）の3候補地5案をもとに検討が行われました。

②亀山公園付近

②亀山公園ふれあい広場に本庁舎を建設する案

延べ床面積 24,000㎡～26,000㎡
事業費試算 137.8億円
想定職員数 1,012人



①現本庁舎付近

①-1 現本庁舎を解体し、跡地に本庁舎を建設する案

延べ床面積 24,000㎡～26,000㎡
事業費試算 137.8億円
想定職員数 1,012人

①-2 現本庁舎と中央駐車場を解体し、跡地に本庁舎と駐車場を一体建設する案

延べ床面積 24,000㎡～26,000㎡
事業費試算 145.0億円
想定職員数 1,012人



③小郡総合支所付近

③-1 小郡総合支所を解体し、跡地に本庁舎を建設する案

延べ床面積 23,000㎡～ 25,000㎡

事業費試算 147.0 億円

想定職員数 935 人

③-2 職員駐車場として使用している敷地に本庁舎を建設する案

延べ床面積 20,000㎡～ 22,000㎡

事業費試算 128.1 億円

想定職員数 802 人

小郡地域

※新山口駅北地区重点エリアの公有地については、産業振興や民間主導による市街地整備を促進し、新たなビジネス街としての空間形成を進めていることから、本庁舎の候補地案とはしていなかった。しかしながら、委員から新山口駅北地区などの意見が出されたため、次回会議にて検討を行う予定。

小郡総合支所

新山口駅

小郡総合支所

職員駐車場

委員からの意見

委員からは「人口減少に伴って職員数や床面積などの規模を縮小すべき」という規模についての意見のほか、「宇部市と連携中核都市圏の取り組みを進めるのであれば、小郡地域が良い」、「新山口駅北地区重点エリアを候補地にあげるべき」、「市民サービスの拠点として人口集積率を考慮して検討するべき」、「老朽化した市民会館を解体し、跡地に建設してはどうか」等の候補地に関する意見、また、「仮庁舎建設は無駄」、「景観に配慮すべき」、「一般論として、地すべり、土石流地域は避けるべき」、「近くに広場や駐車場のような、災害時に多目的に使える場所があると良い」等、さまざまな意見が出されました。こうした意見を踏まえ、次回以降、引き続き検討が行われます。

検討委員会の今後のスケジュール

日程	協議内容（予定）
平成 28 年 9 月	これまでの総括
平成 28 年 11 月	答申案の検討について
平成 29 年 1 月	答申

第 4 回検討委員会

引き続き、新本庁舎の役割、機能、規模、候補地について検討を行う。

■日時 8月2日（火）15時から

■場所 ホテルニュータナカ
（湯田温泉二丁目 6-24）

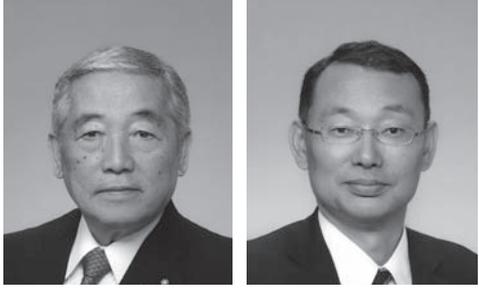
※この会議は、市民の方の傍聴も可能です。
※スケジュールは変更することがあります。

平成 29 年度 市の基本方針を決定

市政トピックス

市議会の議長・副議長が決まる

5月19日、平成28年第2回市議会臨時会において、議長に重見秀和議員（県央創造清風会）、副議長に田中勇議員（県央創造維新会）が選出されました。また、常任委員会および議会運営委員会の委員が新たに選任されました。



重見議長

田中副議長

☎ 市議会事務局
0833・9334・2854

チャレンジデーに参加

5月25日、本市はチャレンジデー2016に参加し、神奈川県座間市と対戦しました。

当日は、7.7万人を超える市民の皆さんにご参加いただき、見事、座間市に勝利することができました。

市長は、「ご参加いただいた皆様に感謝申し上げます。来年も参加者10万人を目指してエントリーしたい。」と述べました。



東山保育園では園児 109 人が参加

☎ スポーツ交流課
0833・9334・2912

学校施設の耐震化が完了

昨年度、小学校2校、中学校1校、幼稚園2園の耐震化工事を行いました。これに伴い、本市の市立小・中学校、幼稚園における耐震化率が100%となりました。今後は、施設の長寿命化に取り組んでいきます。

☎ 教育施設管理課
0833・9334・2860

陶地域交流センターの供用開始

施設の老朽化により、建替工事を進めていた陶地域交流センターがこのほど完成し、6月27日に供用を開始しました。

新しい地域交流センターは、鉄筋コンクリート造と一部木造の平屋建とし、「行政窓口」、「生涯学習」、「地域づくり」、また「災害時の避難所としての地域の防災拠点」の4つの機能をあわせもつ施設です。

施設には、地域づくり活動や生涯学習の場となる会議室、和室、調理室等に加え、授乳室や多目的トイレのほかに、災害時などに一時的に利用対応できるシャワー室を設置しています。

☎ 協働推進課
0833・9334・2965



新しくなった陶地域交流センター

「明治維新と小郡」発行

5月31日、おごり地域づくり協議会が、ガイドブック「明治維新と小郡」の完成を市長へ報告されました。

このガイドブックは、歴史をわかりやすくひもとくとき、幕末維新期の小郡の姿や先人達の志に触れて欲しいとの思いで作られたものです。

市長は、「多くの方々の力を結集され、すばらしいものをつくられた。歴史を学ぶことで、地域への愛着もより一層湧いてくると思う」と述べました。

ガイドブックは、10月に予定されている基調講演などで配布される予定です。



☎ おごり地域づくり協議会
0833・976・8588

湯田温泉がレノファサポート宣言

レノファ山口をさまざまな視点からサポートする目的で、山口観光コンベンション協会と湯田温泉旅館協同組合、湯田温泉料飲社交組合が「レノファJ2活性化支援」を立ち上げ、5月24日、山口総合支所で、市長立ち会いのもと、サポート宣言が発表

市報やまぐちの アプリ配信始めました

市報やまぐちをより多くの方に読んでいただけるよう、スマートフォンやタブレット向けの無料アプリ「i広報紙」での配信を開始しました。このアプリをスマートフォンなどにダウンロードするだけで、いつでも市報やまぐちをご覧いただけます。

☎ 広報広聴課

0833・9344・2753

i広報紙の便利な機能

▼最新号がきたらお知らせ

最新の広報紙が発行されると、アプリからタブレット端末にお知らせが届きます。



▼いつでもどこでも読める

気になったとき、いつでも読めるのがポイント。「怪我をした。休日当

番医はどこかな？」という時など、

しまっておいた市報を取り出す手間が省け、お手元のスマホ上ですぐに確認できます。



▼記事をスクラップ&シェア

気になる記事は切り抜いてスクラップとして保存することもできます。またスクラップした記事はフェイスブックやツイッターなどに投稿してシェアすることもできます。

i広報紙内の利用について

・ダウンロードも利用も無料のアプリですが、利用には通信料が必要です。ご了承ください。
・アプリ内に広告が表示されます。この広告はアプリ運営のためのもので、山口市とは関係ありません。

画面イメージ



利用する場合

右下のバーコードを読み取って、「i広報紙」のホームページにアクセスし、アプリをダウンロードしてください。



防府

夏の幸せますフェスタ 港まつり

- 期日 7月17日(日)
 - 場所 三田尻港道の駅潮彩市場防府周辺
 - 内容 カッターレース大会(9時から)、みなとサマーコンサート(MIKKO・30POSSE)、消防車両展示、起震車コーナー、防府競輪コーナー、スケッチ大会、カッター漕ぎ講習会等
※天候等により変更有り(「市場まつり」も同時開催)
- ☎ 幸せますフェスタ実行委員会港まつり部 ☎ 0835-22-4352



宇部

チームラボ 呼応する森

- 世界で活躍するデジタルアート集団「チームラボ」がつくるデジタルアート作品が夜のときわ公園に登場。木々に近づくと光の色や音が変わり、その場にいる人すべてが参加できる作品です。
- 日時 7月22日(金)～8月28日(日) 19時～22時
 - 場所 ときわ公園ときわ湖水ホール付近
 - 料金 一般300円、高校生以下無料(小学生以下は保護者同伴)
- ☎ 常盤公園管理課 ☎ 0836-54-0551



山口

ふしの夏まつり

- 「ふるさとの心はひとつ」をテーマに、ふしの岩戸太鼓や小郡総踊りなど多彩な催しが行われます。真上に見える約3000発の花火が真夏の夜空を美しく染め、祭りを盛り上げます。
- 日時 7月30日(土) 17時から(花火は20時から)
 - 場所 榎野川東津河川公園(小郡)
- ☎ ふしの夏まつり実行委員会 ☎ 083-976-8588



わがまちも、となりまちも、ぐるっと再発見!

❗ お願い
駐車場はありません。お越しの際は、公共交通機関をご利用ください。(JR周防下郷駅から徒歩6分)

地域おこしタイムズ



平成 28 年 5 月着任
宮下裕行 (30 歳)

趣味：サイクリング、
スポーツ観戦



平成 28 年 6 月着任
原田尚美 (32 歳)

趣味：旅行、おいしい
ものを食べる

山口市ならではの農業経営のモデルプランを作るために、地域おこし協力隊として、本市全域での活動をおこなう二人を紹介します。

生産技術で負担を減らす

「生産技術を改良して生産者の力になりたい」。地域おこし協力隊着任前は、野菜の苗を栽培する会社に勤め、農産物の生産・研究をしてきた宮下さん。もっと農家・地域の方に密着した支援をしたいと思い、地域おこし協力隊への応募を決定した。

「農業は重労働も多く大変であるとよく言われる。生産が大変だから大量生産できないという理由で、ブランド力を秘めた山口市の農産物が地産地消にとどまるのはもったいない。生産技術を改良することで、農業の負担を減らし、もっと多くの人に山口市の農産物を広めたい」。皆さんと一緒に元気な地域をつくるため、まずは、農家・地域の方の思いを大切にしていきたいという。活動の中で、生産者から「農業は儲かる」という言葉を聞いた。「やり方をひとつ変えるだけで農業は大きく変わる。経営支援を通じて、農家の収入を増やし、多くの方に農業の魅力を発信していきたい」。



農業の方法を学ぶ宮下さん

身土不二 地元の食材が体にいい

6月に着任したばかりの原田さんは、着任前は都市部で仕事をしてきた。過疎地域で開催される農業イベントに参加したとき、過疎地域の後継者問題や耕作放棄地などの現状を目の当たりにして以降、仕事の合間をぬって人手不足の農家の手伝い等をするようになった。地元山口でも同様の問題があることを知り、「自分の経験が生かせないか、力になりたい」と思い、本市での地域おこし協力隊に応募した。

「耕作放棄地などを利用して、ワイナリーが作れるのではないか。山口の土壌に適したぶどうを育て、山口で醸造する。山口の食材に合う美味しくて体にいいワインを作りたい」という。

「身近にありふれている食材が、本当はすぐくあたたくて価値のあるものだと思う。地元の人々が地元の食材を食べる喜びを感じ、観光客にも山口の魅力を感じてもらえる場所をつくる中で、山口の魅力・人々の思いを広げたい」と願いを語ってくれた。



山梨のぶどう農園で袋かけを手伝う原田さん

表紙の写真から

140年の伝統 阿知須十七夜祭

表紙の写真は、6月4日(土)に開催された阿知須十七夜祭の曳き山(山車)で、先生に見守られながら、女の子が長年伝わる踊りを舞う様子です。

明治11年から始まったといわれ、商売と漁業の繁栄を祈る阿知須十七夜祭。広島の厳島神社に由来し、瀬戸内海沿岸の各地域で開催される十七夜祭の中でも、曳き山があるのは珍しく、祭りを盛り上げようとする人々の思いが今なお引き継がれています。曳き山は、漁業で栄えた5つの自治会が持ち回りで担当。今年は、砂郷地区の子どもたちが笛や太鼓のしやざり、可憐な踊りを披露し、その姿を一目見ようと、たくさんの方が集まっていました。曳き手が「えいや、えいや」と威勢よく掛け声を発しながら、阿知須商店街の細い道を絶妙なバランスで通る姿や、阿知須駅前の大きな道路を勢いよく駆け抜ける姿には目を見張ります。



伝統的な祭りが続くよう、来年に向け、これから準備が始まります。

問 阿知須地域交流センター

☎0836・65・2022

7月 8月

イベントカレンダー

7/1 (金) ~ 8/7 (日)

山口ふるさと伝承総合センター七夕祭り [大殿] 山口ふるさと伝承総合センター ☎ 083-928-3333

7/16 (土)

山口大学「前ユネスコ事務局長松浦晃一郎氏講演会」[平川] 山口大学国際企画課 ☎ 083-933-5027

7/18 (月・祝)

船平山ゆうすげまつり [阿東] NPOあとう ☎ 083-956-2526

7/20 (水)

山口祇園祭 御神幸 [大殿・白石] 八坂神社社務所 ☎ 083-922-0083



7/24 (日)

山口祇園祭 市民総踊り「やまぐちMINAKOIのんた」[大殿・白石] 実行委員会 ☎ 083-932-3456

7/27 (水)

山口祇園祭 御還幸 [大殿・白石] 八坂神社社務所 ☎ 083-922-0083

7/30 (土)

ふしの夏まつり [小郡] 実行委員会 ☎ 083-976-8588

8/6 (土) ~ 7 (日)

山口七夕ちょうちんまつり [大殿・白石・湯田] 実行委員会 ☎ 083-932-3456



8/8 (月)

音楽と花火の夕べ [宮野] 陸上自衛隊山口駐屯地広報室 ☎ 083-922-2281

開催中のイベント

7/10 (日) まで

あじさい日和 [徳地] 重源の郷 ☎ 0835-52-1250

7/24 (日) まで

企画展「DADA1916→1923」[湯田] 中原中也記念館 ☎ 083-932-6430

8/31 (水) まで

企画展「山頭火展」[湯田] 狐の足あと ☎ 083-921-8818



おとうさん、おかあさんといっしょ

河原谷公園 (佐山地区) 【佐山3-4】

とにかく広い! 河原谷公園は、佐山の企業団地(山口テクノパーク)の中にある大きな公園です。自然を感じながら、大きな遊具で思いっきり遊べます。また、当日事務所で手続きをすれば、持ち込みでバーベキューもできます。大きめの室内休憩所もあるので、日差しに疲れたらゆっくりひと休み。晴れた日に、お弁当と水筒を持って出かけましょう。

☎ 事務所 ☎ 083-989-6804



梅雨の合間の青空に、夏の気配を感じる頃となりました。さて、去る5月29日、思いがけないお客様が、山口情報芸術センター(YCAM)にいらっしやいました。キャロライン・ケネディ米国駐日大使御夫妻です。

オバマ大統領の歴史的な広島訪問の直後で、公務の合間を縫って、お越しになられたそうです。プライベートの旅行とのことで、事前の連絡が無かったため、私も案内できませんでしたが、教育に高い関心をお持ちで、ちょうど開催中の子ども達を対象としたワークショップを熱心に御覧になられ、スタッフへも色々質問されたそうです。

また、6月18日から開催しています「コガルガーデン」の準備の様子も、大変、興味を持っていただきました。大使からは、「YCAMは、有名な施設で、来日前から知っていた。ぜひ一度訪れてみたかった。」と、とてもうれしいコメントをいただきました。

近い将来、再び、山口にお越しになられることを願っています。

山口市長 渡辺純忠



大内中生徒と記念撮影する大使